

コロナ禍における生活機能向上型デイとしての取組み

社会福祉法人奉優会 等々力の家デイホーム

山根 圭以子

(個別支援 在宅サポート 多彩なプログラム)

1. 目的

長引くコロナ禍で今まで通りのレクリエーションを行うことが困難になり、デイサービスでの過ごされ方も変化せざるを得ない状況となった。感染を予防しながら機能を維持する為のデイでの活動や在宅での生活サポートなど、コロナ禍でも住み慣れた地域でいつまでも安心して生活できることを目的とした。



2. 実践内容

(1) 安心して通所していただくために取り組んだこと

感染防止対策の徹底とプログラム内容の変更・充実を図った。タンゴセラピーやオンラインツアー、講師の方とリモートを活用しての手工芸教室など ICT を活用した新たな取組みを実施した。



(2) 自立支援・重度化防止への取組み

コロナ禍において高齢者の活動が制限され体の機能低下が顕著に見られた。等々力の家デイホームでは、遊歩クラブを開き、往復 50M の長い廊下を活用して歩行練習を実施。また、理学療法士による個別リハビリも実施し、個別のニーズに合わせた効果的な運動を実施した。デイサービスでお過ごしの間、その方の日常生活動作に沿った役割活動（配布物折り・テーブル拭き、洗濯物たたみ、園芸の水やり）も行っていた。



(3) お困りごと支援の取組み

外出を控える方も多く、ご家族の支援が難しい方へ、お買い物サービスの代行、ヘアカットサービス、夕食提供、お弁当サービス、通院同行、お薬受け取りなど在宅生活を支えるためにデイサービスの枠を超えてサポートした。

コロナ感染予防からデイサービスをお休みされているご利用者様へは、電話による体調確認や脳トレ、PT 考案の奉優体操プログラムメニューなど定期的にお届けしケアマネージャー様と情報を共有することで、機能維持向上を支援した。

3. 結果

今まで提供してきたプログラムを大きく変えるのではなく、そこに ICT を上手く掛け合わせることで新しい体験や驚き楽しみが生まれ、意欲の向上に繋がった。

理学療法士による専門的な個別リハビリと、楽しみながら自由な時間に日常生活に役立つ機能訓練ができる遊歩クラブを活用することでデイでの活動量が増え残存機能の維持向上に繋がった。

役割活動を行うことで、機能訓練の効果と共に他者の役に立ったという充実感や達成感を感じることが出来、デイサービスへ行く新たな目的や生きがいになり重度化防止に繋がった。

ご利用者様との日々の関わりの中で、ご本人の生活状況を多職種連携しながら、お困りごとを抽出しデイサービスとして出来る支援を実施することでいつまでも安心して在宅生活ができ、自立支援に繋がると考える。

4. 考察と今後の課題

今後は ICT をさらに介護に取り入れ科学的な視点によるリハビリを取り入れることで維持・改善率をあげさらなる自立支援に繋がると考える。

また、デイサービスとして、生活の楽しみ・喜び・生きがいに繋がるような、より個別性の高いプログラムの提供や自立支援に向け、色々な点からサポート出来る様検討していきたい。

<助言者コメント>

山本 学（社会福祉法人世田谷区社会福祉協議会連携推進課課長）

コロナウィルスが引き起こした様々な課題に対して、ICT を上手く活用し支援の質を高め、高齢者お一人おひとりに寄り添いながら支援に取り組まれているのがよく伝わりました。

全国的に外出制限がかかる中、旅行会社と連携して企画するプログラム「オンラインツアー」では、国内の有名観光地とオンラインで繋がり、旅行気分を味わいながら、参加者の思い出も回想するなど、施設（地域）に居ながら外部環境と繋がる空間を作り出しており、民間企業のノウハウを活用した効率的・効果的な取組みと言えます。

また、体の機能低下の改善のため、個別リハビリと併せて、配布物折りや園芸の水やりなど役割を持って活動をすることで、ご本人の参加意欲を向上させるといった繋がるための心の支援もしっかり視野に入れられており、職員もご利用者も正に一緒に時間を共有している状況が浮かびます。さらには、デイサービスで過ごす時間のみならず、ご利用者の生活面にも目を向け、買い物代行や通院同行などデイサービスの枠を越えた生活サポートにも取組み、お休みされている方にも能動的に支援を行うなど、地域での在宅生活を支えています。

コロナ禍で人と人のつながりが減り、心の豊かさや生きがいも失われ一層孤立・孤独に陥るなど「地域生活課題」の増幅が危惧されている中、本報告の取組みは、あらゆる福祉の現場で共有したい重要な支援の視点が随所に含まれています。今後も等々力の家デイホームとしての取組みや科学的視点から得られた分析結果等をご報告いただくことで、デイホームにおける支援の充実のみならず、地域で行われている様々な活動や支援にも活かされと思います。

コロナ禍の中、感染防止を徹底しながらの支援実践は大変なご苦勞もあったかと思います。素晴らしいご報告をいただき、ありがとうございました。